

**第5回**  
**一般廃棄物処理施設建設適地検討委員会会議録**



平成21年1月20日（火） 14:00

環境組合事務局1階 第10会議室

佐賀県西部広域環境組合

第5回一般廃棄物処理施設建設適地検討委員会					
日 時	平成21年1月20日(火) 14:00~16:00				
場 所	環境組合事務局1階 第10会議室				
委 員	区 分		氏 名	出 欠	
	学識経験者		樋口 壯太郎	出	
			伊藤 洋	出	
	伊万里市民代表		井手 武昭	出	
			大川内 正弘	出	
			川内 嘉津子	欠	
	自然環境に関する有識者		鶴田 靖雄	出	
	行政代表	伊万里市副市長		前田 和人	出
		武雄市副市長		古賀 滋	出
		江北町副町長		横町 晃義	出
太良町副町長		永淵 孝幸	欠		

オブザーバー	施設整備実務経験者	福田 康成	出
--------	-----------	-------	---

事 務 局	事 務 局 長	井関 勝志
	事 業 2 係 長	宮崎 八州雄
	事 業 2 係 主 査	土井 一
発注者(事務局)支援事業者	(財)日本環境衛生センター 西日本支局	岩永 宏平
適地調査受注業者	日本技術開発株式会社	山口 隆三
		江藤 秀二

---

## 第5回一般廃棄物処理施設建設適地検討委員会

### 1. 開 会

### 2. 確認事項

- 第4回委員会会議録の要旨

### 3. 協 議

#### (1) II 建設用地の比較検討

##### II-1 基本条件の確認

1. 施設整備のコンセプト
2. 候補地の範囲
3. 施設建設場所として避けるべき要件の抽出とその範囲
4. 本候補地内において施設立地が望ましい範囲の設定
5. 施設配置計画案の検討

##### II-2 計画案の技術等比較評価

#### (2) 提言書（案）について

### 4. その他

#### (1) 構成市町への中間報告について

#### (2) 次回委員会日程について

### 5. 閉 会

午後2時00分～ 開会

1. 開 会 (事務局長)

(議事進行：委員長)

2. 確認事項

**①第4回委員会会議の要旨について**

前回（第4回）委員会で協議決定された事項と、資料的に必要と要望された追記事項の確認を行った。

また、前回まで提示していた施設配置計画（案）に覆土置き場を加味し、これに伴い造成面積や費用、土地地権者数等の補正を行ったことを確認した。

**②構成市町における資源化施設等の検討状況について**

現在、構成市町において現有施設（資源化施設と最終処分場）の有効活用について協議が続けられており、その結果によってはエネルギー回収推進施設と資源化施設、最終処分場が同時期での一括整備にならないことも想定される。

仮に、段階的整備となった場合は、これまで委員会で検討を重ねてきた適地選定の考え方に相違や支障を生じないか検証した。

- **想定施設が段階的に整備されることになったとしても、施設の機能から見た建設適地は基本的に変わることがない。委員会では、長期的なビジョンで用地を一元的に確保することを前提に検討しており、適地選定のプロセスや考え方に大きな相違は生じないと認識する。**

### 3. 協 議

#### (1) 施設建設適地の総合評価

##### II-1 基本条件の確認

#### **資料に追記した事項を重点に基本条件の確認(施設立地が望ましい範囲の設定まで)について説明**

##### II 施設配置計画案の検討及び計画案の技術等比較評価

#### **2つの施設配置案の諸元、比較評価、総合評価(結果案)を資コンサルより説明**

##### 《総合評価(結果案)の概要》

- 施設配置計画のⅠ案とⅡ案を、優れる「○」、劣る「△」で相対比較した。  
評価要素の集計結果では、Ⅰ案の方が優れると判断される。  
また、防災面、社会面、施設特性、経済面という4つの評価項目での集計結果においてもⅠ案が優れると判断される。
- 重み付けという視点で「防災面」と「経済面」を見ても、その両方においてⅠ案が優れると評価できる。

(事務局) 補足となるが今回の資料には、環境面に関してⅠ案とⅡ案は差がないことから集計表に記載していない。

しかし、委員会では環境面もきちんと検討いただいているので、次回の資料と提言書(案)には環境面の比較結果も記載することにする。

(委員長) 相対評価の結果等について、委員から意見はないか。

(委員) 集計表に環境面を追記する場合、その比較はⅠ案とⅡ案のどちらも○(優れる)と記載することとなるのか。

(事務局) 差がないため、どちらも○(優れる)という記載になるであろう。

ただ環境面の評価要素は9つ検討いただいたが、その中で候補地内に存在した要素のみ集計に記載することとしたい。候補地内に確認できなかった要素(重要な動植物や歴史的文化的環境など)は省くことになる。

(委員) 現地を少し調査したところ、後山川では蛍の餌となる「カワニナ」を確認したので、もしかしたら候補地内には蛍が生息しているかも分からない。生態系の観点からみても、後山川の付け替えが現状と大きく変わらないI案の方がよい。

みやき町では廃棄物処理施設のすぐ脇にホテル公園が整備されており、毎年春から夏場にかけて多くの住民が蛍の観賞に集まっている。そういった地域の活性化につながるような自然と共生した施設整備が望まれる。

(委員長) 環境との共生という貴重な意見であるので、事務局でも今後の事業推進の参考としていただきたい。

(委員) 集計結果でI案が優れるという見解に異論はない。

しかし、比較した項目(要素)の数としては18項目で、これに環境要素を加えるとしても、項目数は本当に十分だろうか。

また仮に、重み付けを考慮するとした場合の項目は、防災面と経済面で問題ないのか。専門的見地からの意見を聴きたい。

(支援者) 他地区の事例では、災害における安全性(防災面)、合理的な施設整備(経済面)、環境への負荷軽減(環境面)を重要視されるケースが多い。その点からも本委員会の評価要素・項目は妥当であると判断する。

(委員) 経済面の要素は造成工事費の1項目だけでまとめてあるが、イニシャルコストだけでなく、ランニングコスト(維持管理費)も考慮してあるのか。

(コンサル) 地表から上の部分の建設費と施設稼働後の維持管理費は、建設場所の違いがあっても差異はないと思われるため、評価要素に維持管理コストは加味していない。

(事務局) 文章ではその事を説明したつもりであるが、評価表にも記載した方がよければ工夫したい。

(委員) 資料末尾の「評価項目の集計表」は必要だろうか。「評価要素の集計表」だけでよいと思う。

(委員長) 集計に環境面の評価を加えるに当たっては、工事に係る環境面の差異も検証してもらいたい。例えば、切り盛りの土工量はⅠ案が約35万m<sup>3</sup>でⅡ案が約50万m<sup>3</sup>となることから、当然工事にかかる二酸化炭素の発生量も異なる。そういう違いを記載してもらえば分かりやすい。

また、最後のまとめについても、重み付けを考慮とした場合についてもⅠ案の優位性は変わらないという内容を、少し言葉(文章)で肉付けしておいたがよい。

- **2つの施設配置計画案を総合的に評価した結果、Ⅰ案(後山川沿いの平坦地を広く活用し、施設を南北方向に1列に配置する案)が望ましいと判断する。**
- **なお、評価集計表には環境面の評価要素を加えることとし、総合的な判断結果の記載については少し文章を工夫する。**

(2) 提言書(案)について

**これまで検討を重ねてきた手順や内容と、評価結果地を提言することについて資説明**

(委員長) 提言書のたたき台としての案であるが、これについて気づきはないか。

(委員) 提言はどこ(誰)に対して行うのか。また、適地の最終決定はどのようになされるのか。

(事務局) 委員会からの提言は、組合管理者へ行っていただく。

決定については、管理者から構成市町の首長会に諮り、合意形成を行ったうえで組合議会(全協)に報告し了承をいただくことで決定となる。

なお、提言の文言について、案では「建設用地の提言」としているが「建設適地の提言」に修正したい。

(委員長) 委員会で用地を決定するわけではないので、「建設適地」と表現する方が好ましい。

(委員) 比較評価一覧表の造成面の欄には、造成費、基礎工事費、維持管理コスト等の概算経費を具体的に記載した方が分かりやすいのではないか。

(事務局) 協議資料に示した概算金額は、類似ケースの平均単価をもとに算出した額であり、提言書にこの金額を記載した場合、数字が一人歩きする（先入観を抱かれる）ことを懸念する。実際は来年度に施設整備基本計画の策定と、測量・地質調査、造成工事基本設計を行う予定であるので、現段階では具体的な金額の記載は避け、提言書には指数で示したい。

(委員) 想定施設の「マテリアルリサイクル推進施設」の表記は、我々が配置を検討した施設と少し違うので分かりにくい。それと、浸出水処理施設も想定施設として書き加えたほうが良いのではないか。

(コンサル) 「粗大ごみ処理施設」は「エネルギー回収推進施設」と一体的に整備するような考え方で、表記を統一するよう修正する。

(委員) ごみ処理広域化基本計画(案)ではエネルギー回収推進施設と粗大ごみ処理施設は別の取り扱い方をしてあり、これも整備内容の考え方が違うので誤解を招かないよう整理が必要である。

(コンサル) 施設の機能（内容）の考え方と関連付帯施設については、整理して表記するよう修正する。

(委員長) 提言書の候補地選定の検討手順についても、簡素化して分かりやすく表記したがよい。

(事務局) 会議冒頭に、構成市町での既存施設の有効活用の検討状況を説明したとおり、施設の建設は同時期ではなく、段階的整備となる可能性もある。

仮にそうなった場合、Ⅱ案の配置計画案は施設を分けての造成や建設工事がかなり厳しい配置であり、逆にⅠ案であれば比較的スムーズに対応できる配



置と思われる。

提言ではI案が望ましいとする理由のまとめに、この点も書き加えたがよい  
かどうか意見をいただきたい。

(委員長)「段階的整備を想定した場合においてもI案が優れる」という記述について、  
委員はどうか。

(委員) まとめには入れておいた方がよい。

- **提言書は、一般の方(検討経緯を知らない住民等)がみても、誤解を受けないように、文章を加筆・修正し、次回の委員会で十分精査する。**